





<b>教育事業名</b>	平成27年度 教育事業  <h1 style="text-align: center;">体験！発見！ジオパーク</h1>								
<b>事業の趣旨</b>	室戸世界ジオパークの地質だけでなく、その地質や地形を生かした室戸の人の営みを知ること、ジオパークの地学や歴史学に興味関心を高めるとともに、自然の偉大さと人間に与える恵みの大きさを体感する。								
<b>対象者</b>	小学4年生から小学6年生までの児童・生徒								
<b>実施期間</b>	平成27年11月21日（土）～平成27年11月23日（月）2泊3日								
<b>参加者</b> （人数／定員）	25名／40名								
<b>活動プログラム</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">11月21日〔土〕</th> <th style="width: 33%;">11月22日〔日〕</th> <th style="width: 33%;">11月23日〔月〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           12:00 室戸青少年自然の家着 開講式             13:30 ジオパーク散策（崎山台地、新村海岸、室戸岬）             19:30 天体観測         </td> <td>           6:15 室戸青少年自然の家発 7:00 大敷網水揚げ見学 9:00 海洋深層水工場見学 10:30 アクアファーム見学 12:00 室戸青少年自然の家着 14:00 ゆず絞り体験 ゆずミルク作り・試飲 18:30 発見発表会準備         </td> <td>           8:30 室戸青少年自然の家発 9:00 室戸世界ジオパークセンター着 10:00 発見発表会 12:45 閉講式 13:00 解散             室戸世界ジオパークセンター発         </td> </tr> </tbody> </table>			11月21日〔土〕	11月22日〔日〕	11月23日〔月〕	12:00 室戸青少年自然の家着 開講式  13:30 ジオパーク散策（崎山台地、新村海岸、室戸岬）  19:30 天体観測	6:15 室戸青少年自然の家発 7:00 大敷網水揚げ見学 9:00 海洋深層水工場見学 10:30 アクアファーム見学 12:00 室戸青少年自然の家着 14:00 ゆず絞り体験 ゆずミルク作り・試飲 18:30 発見発表会準備	8:30 室戸青少年自然の家発 9:00 室戸世界ジオパークセンター着 10:00 発見発表会 12:45 閉講式 13:00 解散  室戸世界ジオパークセンター発
11月21日〔土〕	11月22日〔日〕	11月23日〔月〕							
12:00 室戸青少年自然の家着 開講式  13:30 ジオパーク散策（崎山台地、新村海岸、室戸岬）  19:30 天体観測	6:15 室戸青少年自然の家発 7:00 大敷網水揚げ見学 9:00 海洋深層水工場見学 10:30 アクアファーム見学 12:00 室戸青少年自然の家着 14:00 ゆず絞り体験 ゆずミルク作り・試飲 18:30 発見発表会準備	8:30 室戸青少年自然の家発 9:00 室戸世界ジオパークセンター着 10:00 発見発表会 12:45 閉講式 13:00 解散  室戸世界ジオパークセンター発							
<b>活動の様子</b>	<p>（1日目）</p> <p>高知市内をバスで出発し、一路室戸へ向かった。車窓から室戸以外の山の形を眺め、これから行く室戸の山の形との違いを意識させた。到着後は、自然の家から徒歩で崎山台地を歩き、延々と続く緩やかな下り坂を実感した後、法満坂を一気に下り斜面の角度が大きく違うことを体感し、海成段丘のつくりについて理解を深めた。</p> <p>その後、海岸ではかつて深海の海底だった根拠となる化石や地震の際にできた断層の後などを観察し、室戸世界ジオパークセンターの地理専門員から、崎山台地も大昔は深海の海底にあったことや、隆起の仕組みについて説明を聞いた。</p> <p>自然の家が台地の上であり、周囲に高い山がないことを実感するために、天体観測を予定していたが、曇天のため明るい内に周囲を見回して確認した。</p> <p>（2日目）</p> <p>夜明け前に自然の家を出発し、大敷網の水揚げを見学に向かった。次々に揚がる魚の中から組合長さんが魚を取り出して室戸の海の様子について説明を聞いた。その後、海洋深層水の工場で硬度の違う海洋深層水を飲み比べたり、アクアファームで深海魚を触ったりする活動を通して、室戸の海の利用について考えた。午後からは高知県安芸農業振興センターから</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>								

	<p>普及指導員をお招きして、室戸周辺のゆずを中心とした柑橘類の話聞いた。珍しい柑橘に子どもたちの興味も高まった。実際に器具や自分の手でゆずを絞り、ゆずの果汁に牛乳を混ぜた物を海洋深層水で割り試飲をした。子どもたち自身で簡単に作れておいしく飲めることから、子どもたちの喜びも大きかった。</p> <p>夜は、これまで二日間で発見した室戸の特徴を個人で付箋に書き出し、グループ内で付箋に書いたことを元に発表し合った。</p> <p>(三日目)</p> <p>会場を室戸世界ジオパークセンターに移し、室戸ジオパークセンターの地理専門員に助言をいただきながら、発表会を行った。室戸で発見した室戸の特徴や室戸の人々の生活の工夫を元に、自分たちで考えた室戸の特徴を生かす工夫を発表した。それぞれのグループが違った視点から室戸の特徴に注目し、多様な発表となった。発表会后、室戸の思い出作りとして備長炭を使った炭オブジェを作った。最終日がちょうど勤労感謝の日ということもあり、家で待つ家族への感謝の気持ちをメッセージカードに添えて、大切に持ち帰る子どもがたくさんいた。</p>	  
<p><b>事業の成果</b></p>	<p>体験を通した学習を中心に構成し、室戸の特徴や生活の工夫を子どもたちが実感できるようにしたことで、4年生中心の参加者であったが、理解を深めて自分たちで考えることができた。また、地域発展のために努力されている団体に協力を仰いで見学させていただいたことで、子どもたちにもその熱意が伝わり、本物ならではの発見があった。発表会の中で子どもたち一人一人の個性が感じられ、自分の言葉で思いを語られていた。</p>	
<p><b>事業の課題</b></p>	<p>一日目のジオパークとの出会いの場面となる導入の工夫が今後も必要である。室戸に眠る地域素材がまだまだたくさんあるので、潜在的な地域素材の発掘に力を入れていく必要がある。</p>	
<p><b>参加者の感想</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆずミルクが市販の物よりもおいしくてびっくりしたので、ゆずを自分の手で絞って飲めるようなお店があったらおもしろいと思う。</li> <li>・海洋深層水はミネラルが多くて体によいので、水として飲むだけでなくサプリメントとして売り出せばよいと思う。</li> <li>・お遍路さんが多いので、空海が修行した洞窟のような宿泊施設があったらとまってみたい。</li> <li>・室戸青少年自然の家には自然がたくさんあるので、ツリーハウスのような宿泊施設があったら嬉しい。</li> </ul>	